

志布志から世界へ！

世界で愛される  
お茶づくりを目指して



株式会社堀口園  
堀口将吾



## 概要

名称：株式会社堀口園

代表：堀口将吾

所在地：鹿児島県志布志市

創業：1986（昭和61）年

売上：48.5億円（2025年2月期）

従業員：約50名

茶（煎茶、抹茶、碾茶）の仕入、製造、販売  
茶園の管理



# 自己紹介

堀口将吾

1979（昭和54）年 静岡県焼津市に生まれる

1985年鹿児島県へ、以後高校卒業まで鹿児島県育ち

大学を卒業後、大手飲料メーカーで原料調達の仕事に従事

2010年堀口園入社

2023年代表取締役



×



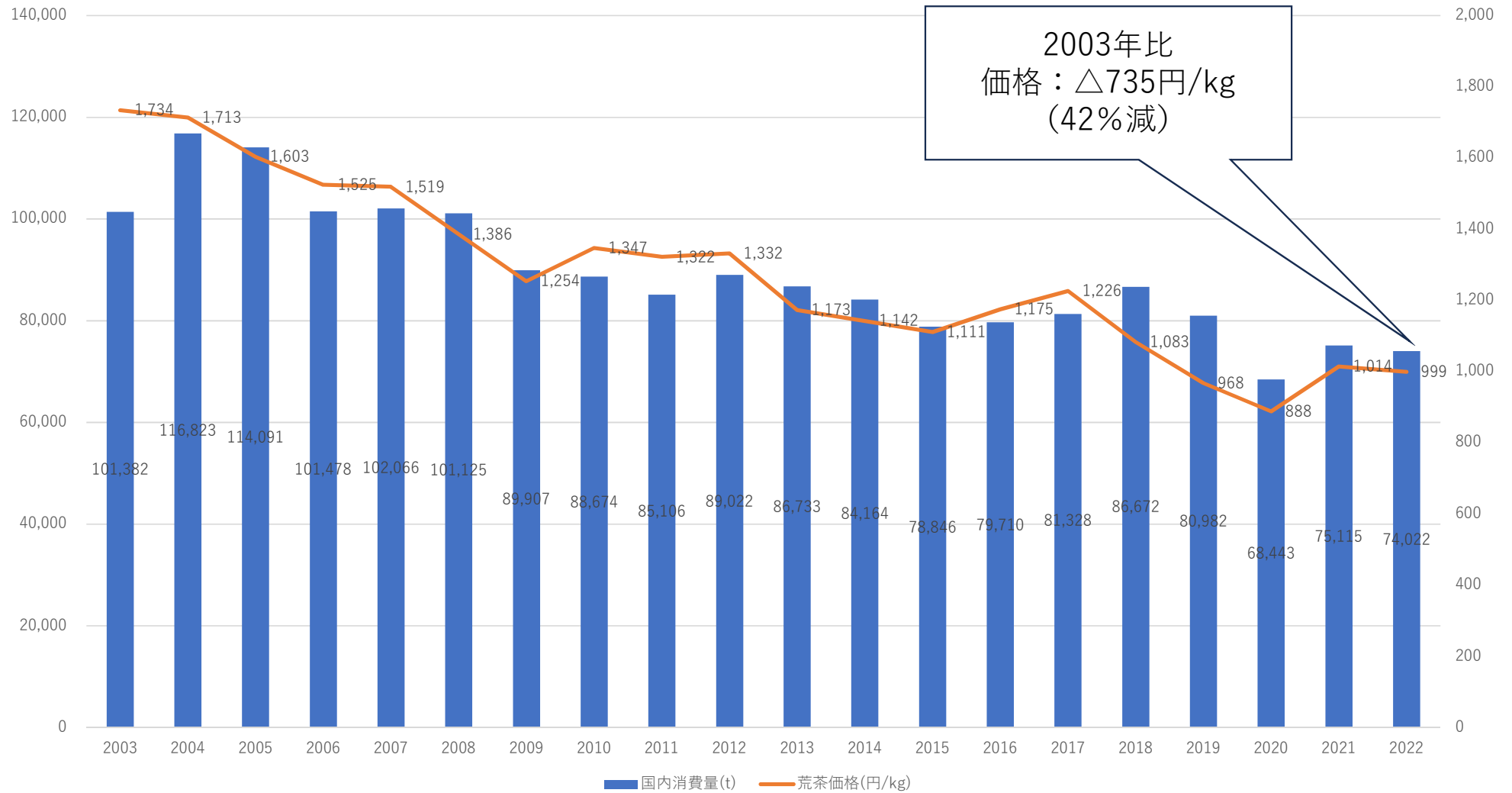
## 志布志茶の特徴

R6年度	面積（ha）	荒茶生産量（t）
全国	32,919	73,454
静岡県	12,800	25,800
鹿児島県	8,150	27,000
志布志市	1,241	4,203

# 志布志茶の特徴

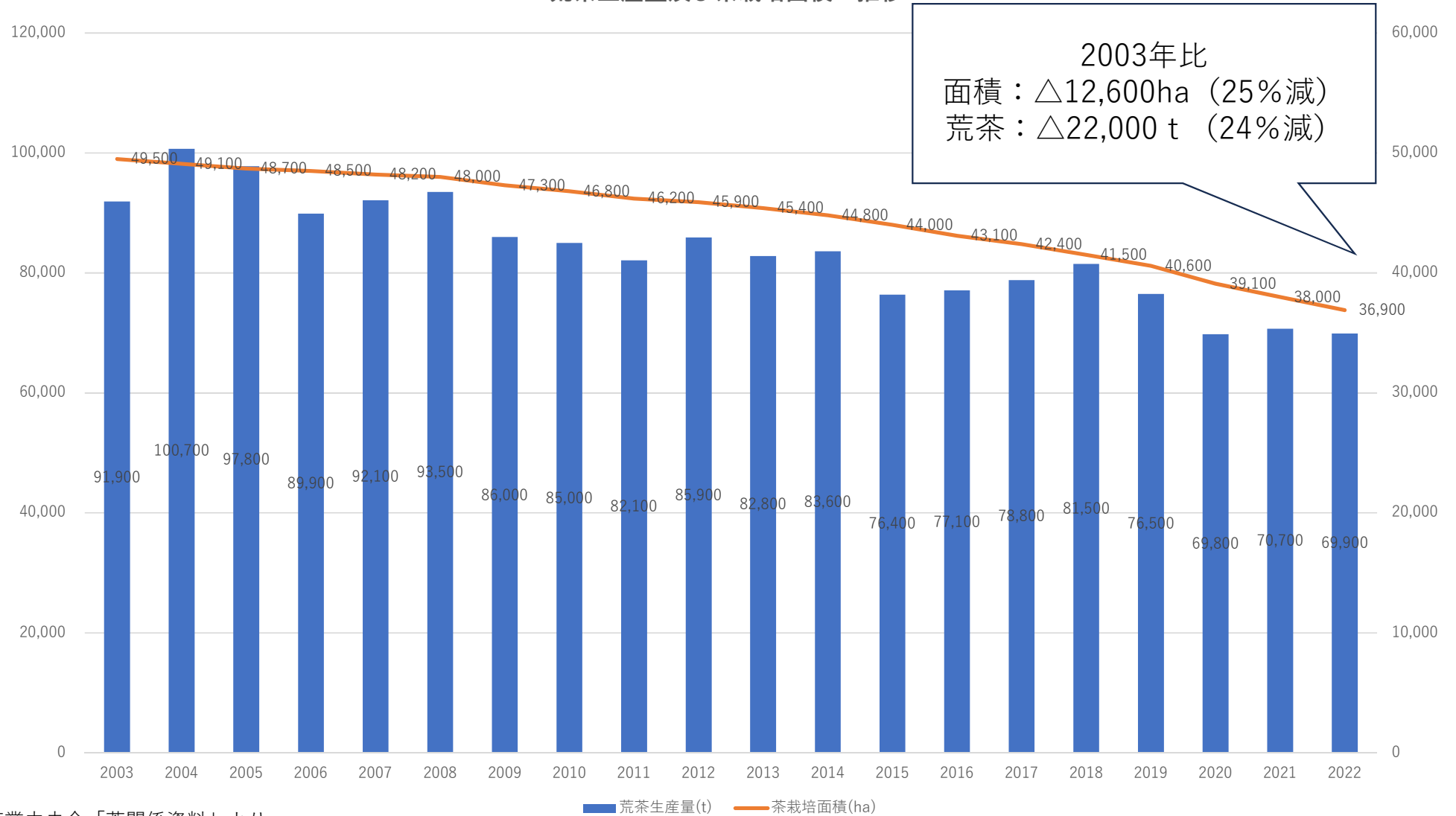
- ・ 平坦で広大な農地→機械化による省力化
- ・ 官民一体となった茶業振興
- ・ 多彩な品種
- ・ 多彩な茶種  
（煎茶：2,295 t、碾茶：1,903 t、玉露、紅茶：6 t）  
※碾茶全国生産量：5,336 t
- ・ 有機栽培茶、海外向け原料の量産化  
（有機栽培面積：323ha、輸出原料：1,219 t）  
※有機栽培面積 全国：1,514ha 鹿児島県：624ha

緑茶の国内消費量及び荒茶価格推移



日本茶業中央会「茶関係資料」より

荒茶生産量及び茶栽培面積の推移



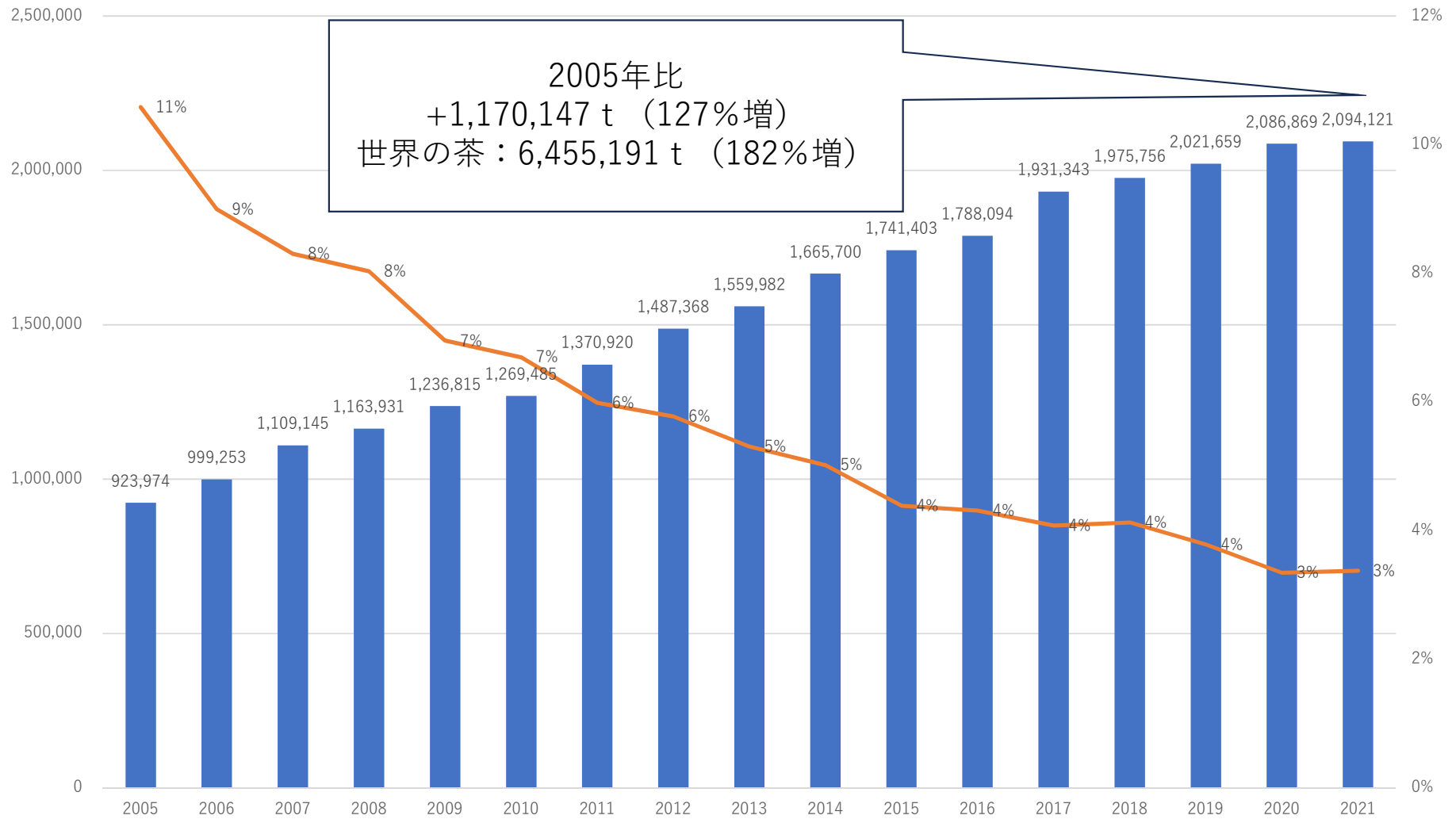
日本茶業中央会「茶関係資料」より

国内茶業は衰退の一途をたどっている…

一方、世界はどうなっているのか？



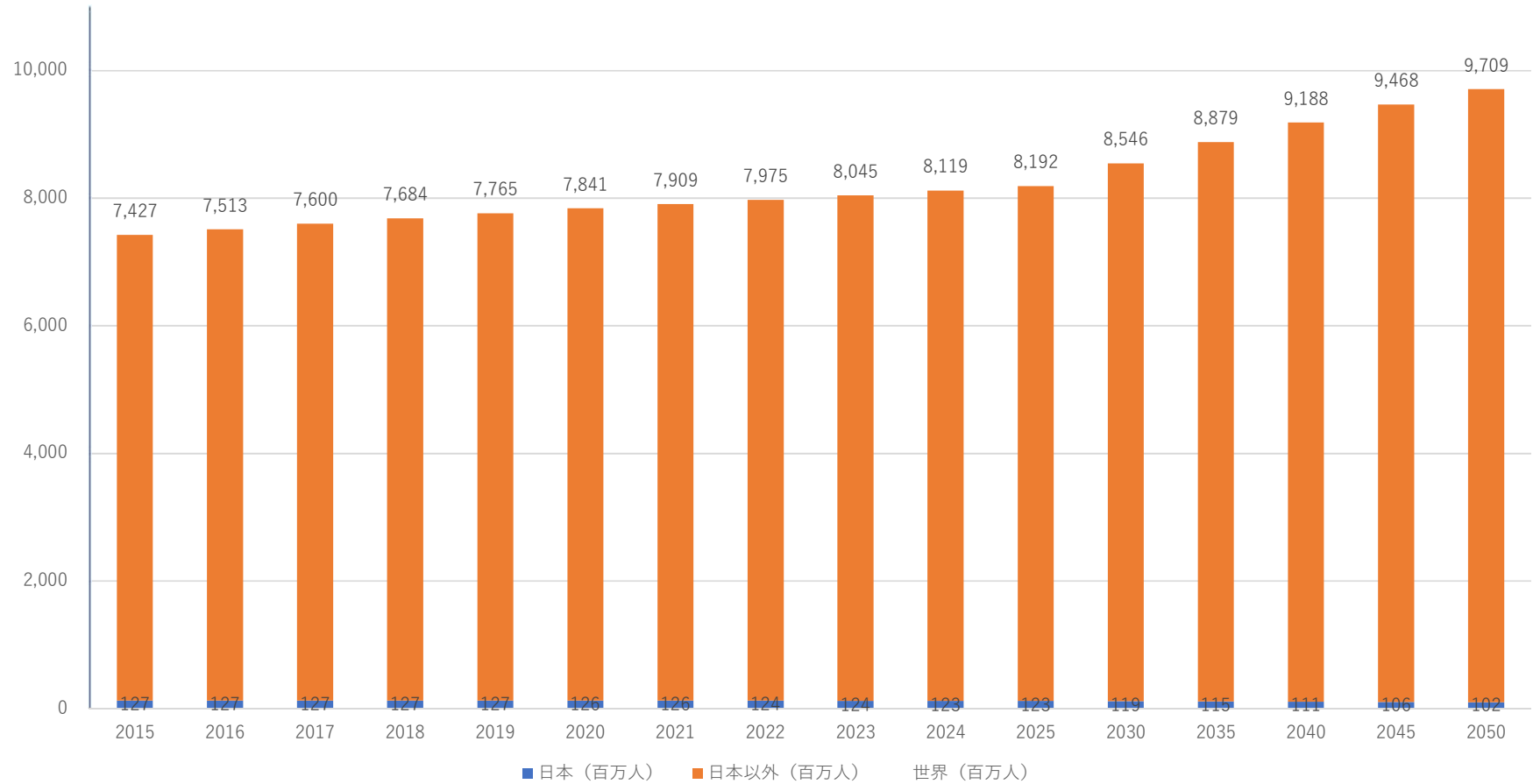
# 世界における緑茶生産量の推移



日本茶業中央会「茶関係資料」より

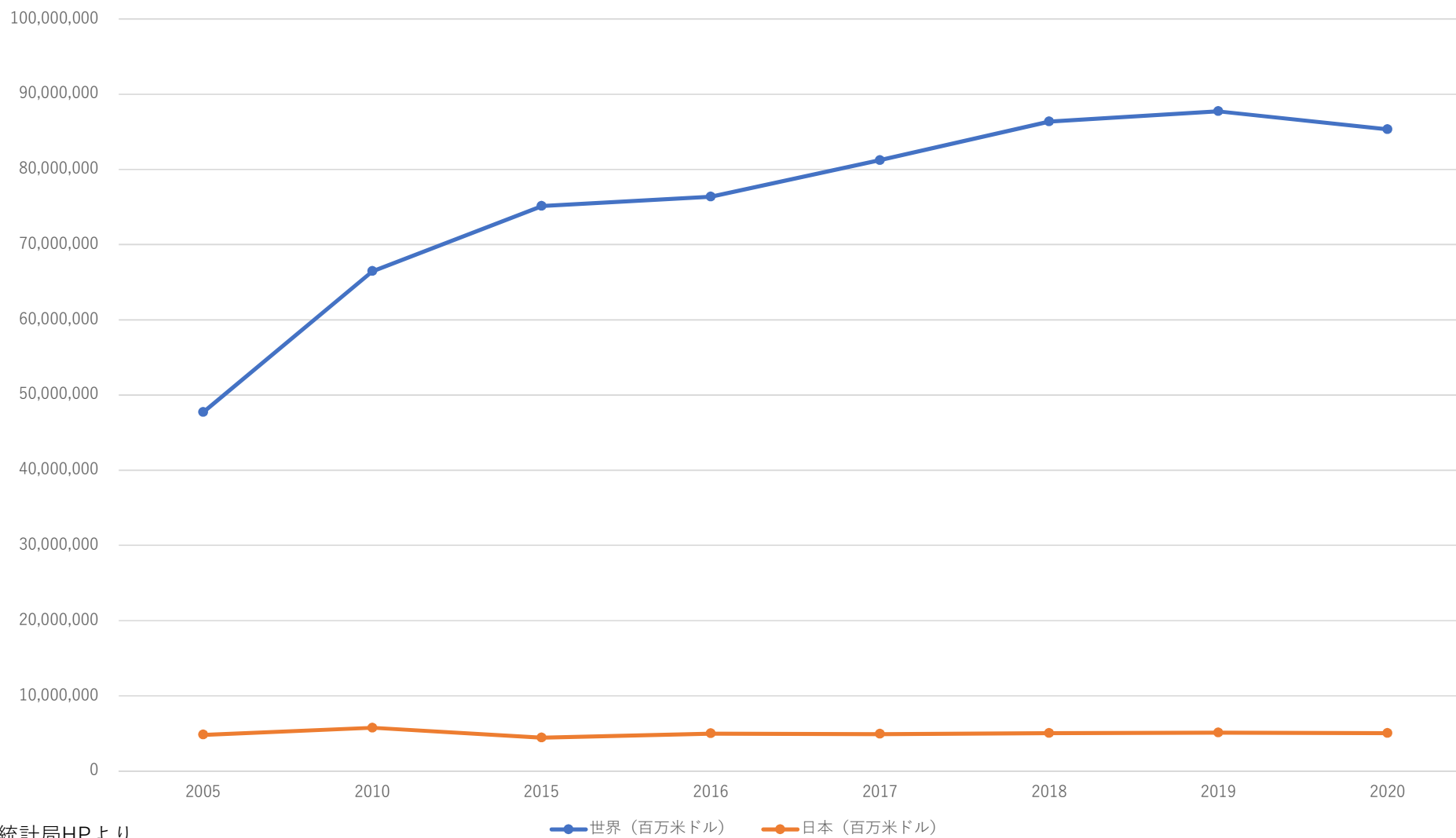
■ 茶生産量(t)    — 日本茶シェア

## 世界の人口推移



※日本は2008年128,084千人をピークに減少

世界の名目GDP推移



総務省統計局HPより

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略  
～マーケットイン輸出への転換のために～  
(2020年11月)



農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略  
～輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化～  
(2025年5月)

## 日本の農林水産物・食品の輸出額

2012年：4,497億円

2021年：1兆円突破

2024年：1兆5,000億円

2025年：3兆円→2兆円（目標）

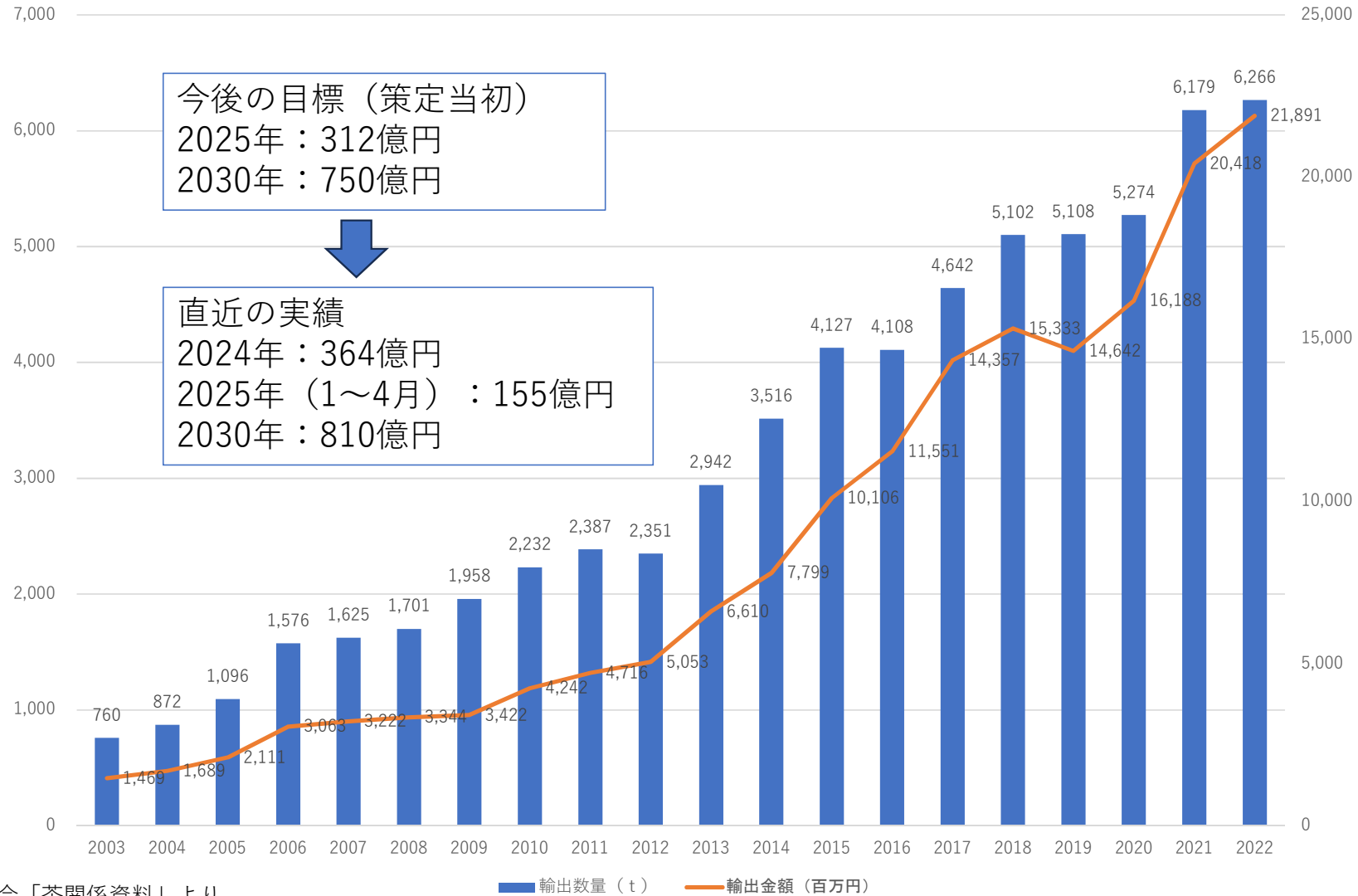
2030年：5兆円（目標）

従来の輸出：輸出できる国だけに輸出



これからの輸出：目標をクリアする為、ポテンシャルの高い重点品目を31（当初29）に絞り、積極的にプロモーション、ブランディング、品質向上を行っていく

# 日本茶の輸出数量及び金額推移



日本茶業中央会「茶関係資料」より



伊藤園グループ 新・中長期経営計画（2023年4月期～2027年4月期）

## 世界のティーカンパニー

茶スペシャリストとして世界の茶文化とつながり、おいしさと価値を広く伝える

グローバル



価値創造



ユニーク





以上を踏まえ、私たちが  
が進んできた道、進む  
べき道



## ○契約栽培による経営の安定化

- ・市況に左右されない収益の確保
- ・一般市場では手に入らないお茶の供給
- ・中長期の投資活動に必要な情報の確保





○海外向け原料の拡充  
残留農薬不検出  
有機栽培茶



# 土台となるIPM農法





# 目に見えないものを管理





?



?



?

外部認証への適合



日本農業の実態が分からない  
海外への印籠として  
環境、人権等への理解





旨味の追及



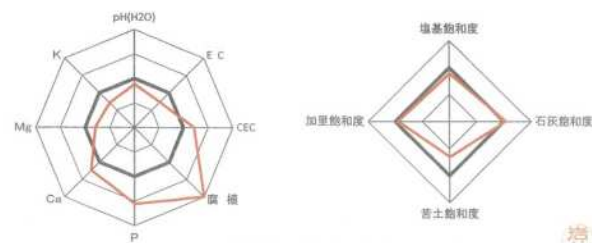
紅茶や烏龍茶など香りに特徴のある  
海外産緑茶との差別化  
「UMAMI」の世界共通語化

飲んでおいしいが一番だが





# 旨味追及のために





○ 6 次産業化

流通（問屋）の部分を主体としつつ、  
畑、一次加工、高付加価値化へ段階的  
に挑戦





第2弾

濃厚  
ほうじプロテイン

鹿兒島茶の名を全国に。  
鹿兒島県のお茶屋が  
本気で開発したプロテイン

CAMPFIRE  
クラウドファンディングに挑戦中!!

私たちの挑戦を応援してください!

すべてのアスリートのために厳選されたお茶です。

GREEN TEA  
TEKI TEKI  
FOR ATHLETES

ON ACTIVE  
GREEN TEA  
TEKI TEKI  
FOR ATHLETES

鹿兒島県産のこだわりの茶葉を、アスリートのために厳選いたしました。  
スポーツボトルにちょうどいい量の包装でいつでも、どこでもお飲み  
いただけます。



志布志の立地を活かし  
たこれからの取り組み



○ボトルネックとなる粉砕能力

2027年～粉砕工場『SGP（スグパ）』新設

S：Sterilization（殺菌）

G：Grinding（粉砕）

P：Packaging（包装）

以上を産地で『**す**ぐに**パッ**と』できる工場を目指す

産地の抱える課題

- ・低い付加価値

志布志港の抱える課題

- ・輸出品の確保

物流の抱える課題

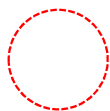
- ・2024年問題  
(輸送能力の低下)

環境の抱える課題

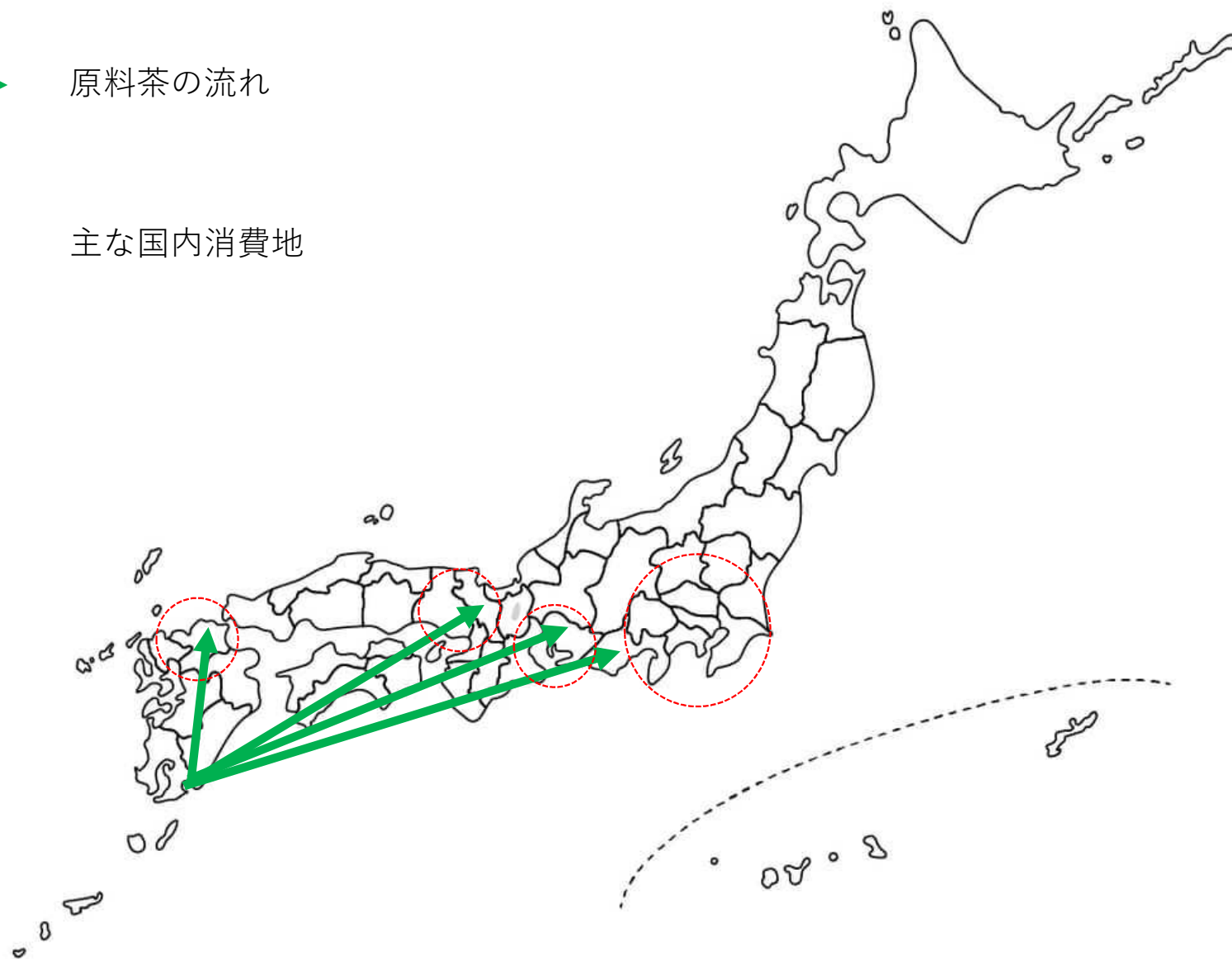
- ・GHG排出量削減



原料茶の流れ

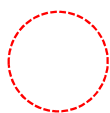


主な国内消費地

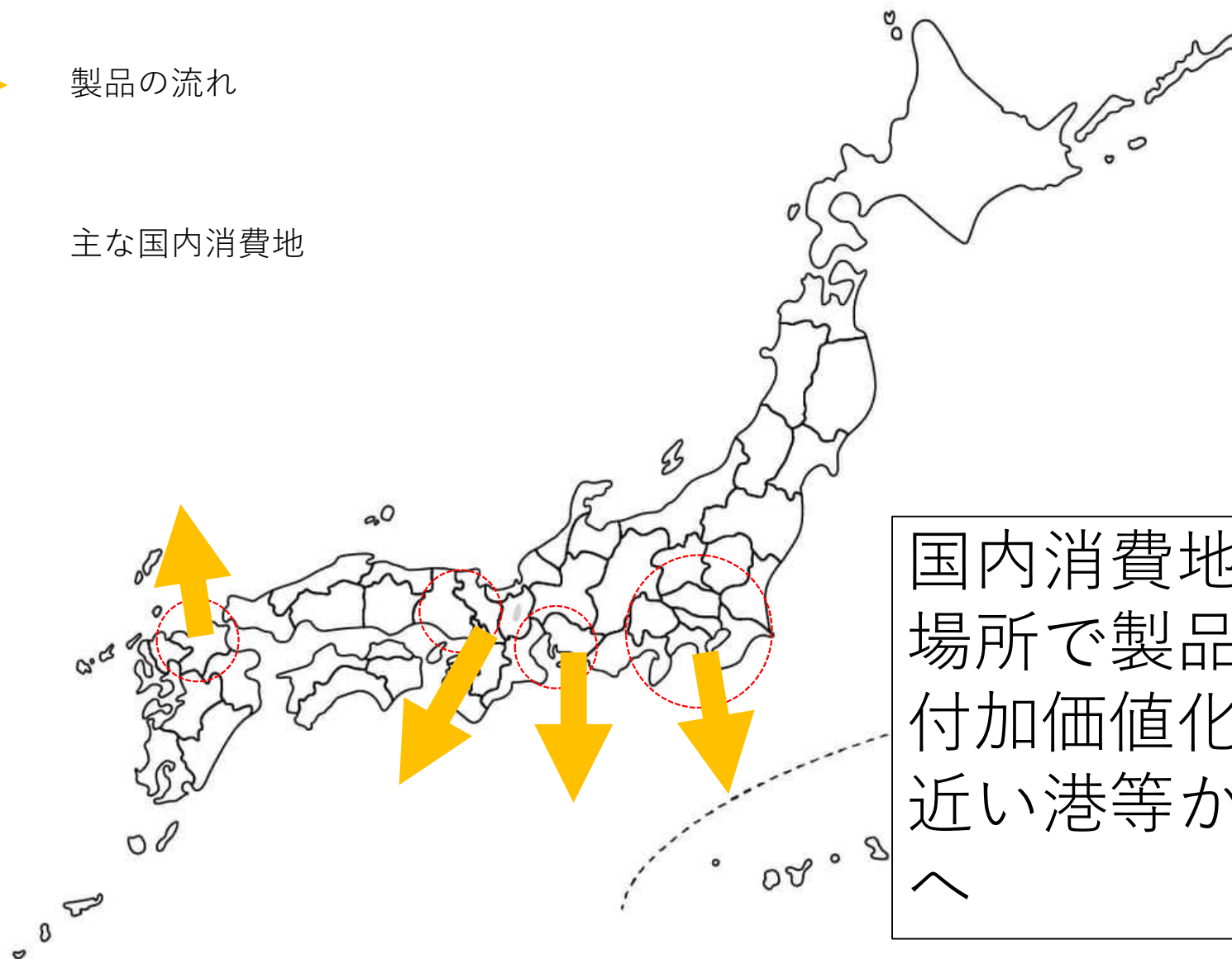




製品の流れ



主な国内消費地

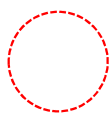


国内消費地に近い  
場所で製品化（高  
付加価値化）  
近い港等から海外  
へ

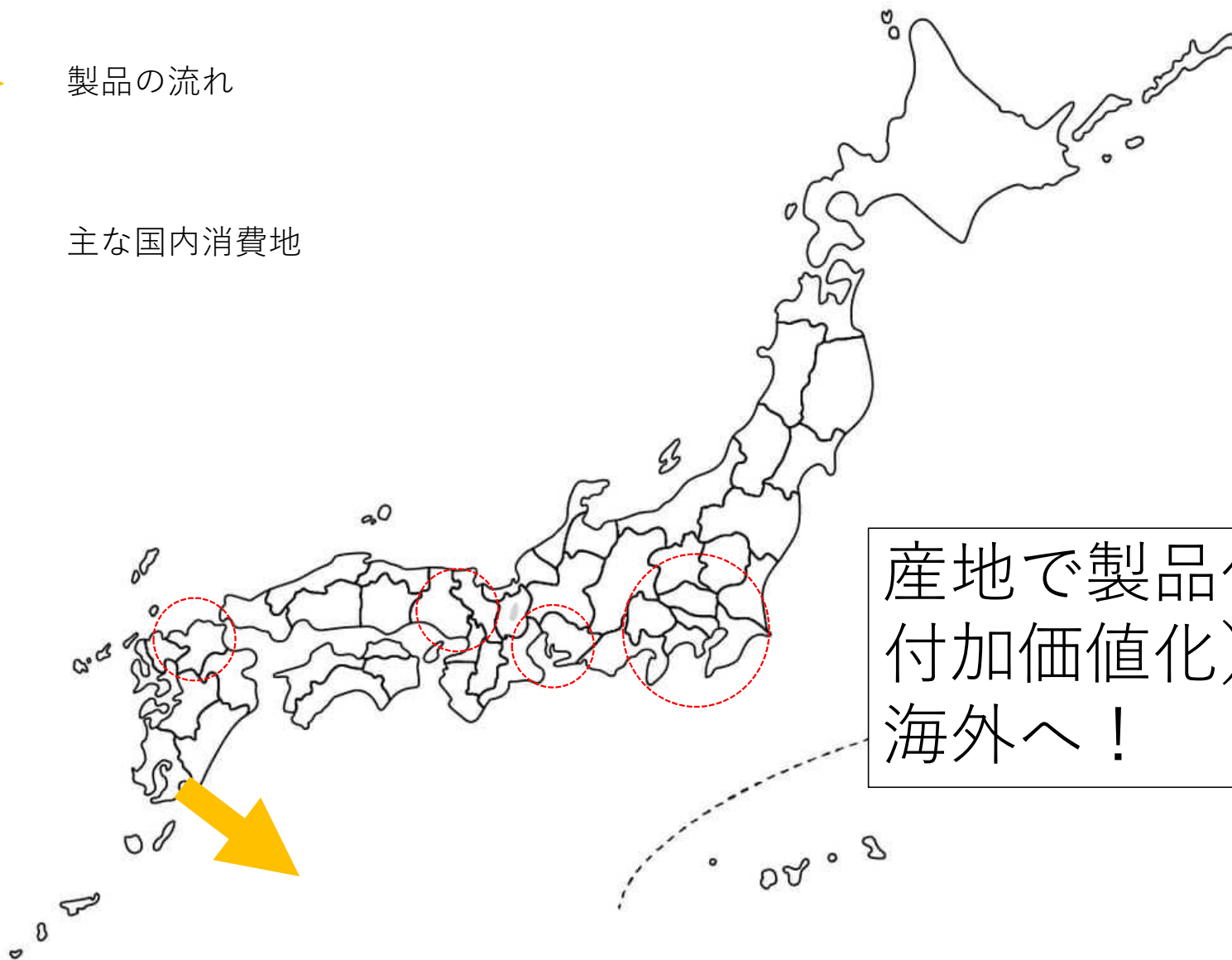




製品の流れ



主な国内消費地



産地で製品化（高付加価値化）直接海外へ！



足元の品質を大切にしつつ、  
世界に通用するお茶を作っていこう！

不透明な部分もあるが、  
まずはやってみて、起きた問題に対応する力  
を身につけよう！